

シリーズ まちづくり

第2回

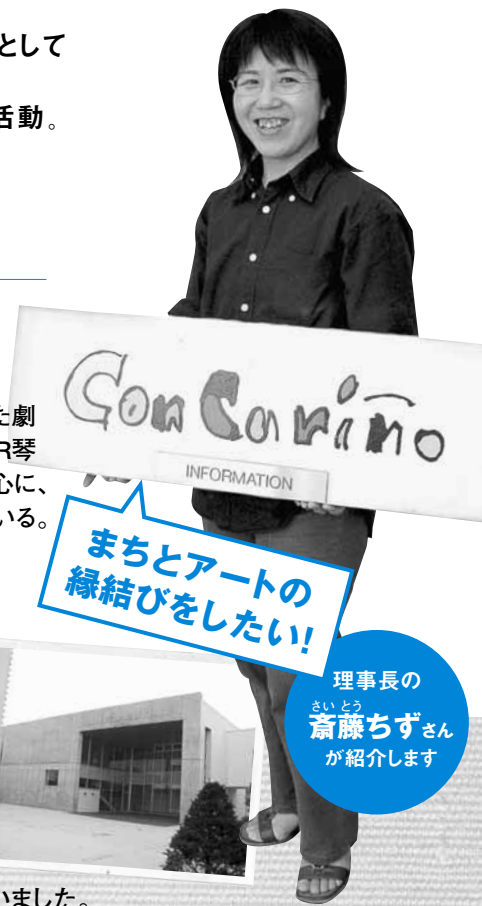
最前線

今、札幌の暮らしを支える存在として
大きくなりつつあるのが、
市民の皆さんによるまちづくり活動。
その活動の様子や、
そこに集う皆さんの思いを
シリーズで紹介していきます。

【今月のまちづくり活動団体】 コンカリーニョ

琴似・八軒を拠点に、地域と密着した劇場づくりを目指しているNPO法人。JR琴似駅前の劇場「コンカリーニョ」を中心に、さまざまな芸術文化活動を展開している。

■メンバー数/219人
■開設年月/2003年4月
☎615-4859
ホームページ
www.concarino.or.jp/npo



理事長の
さいとう
斎藤ちずさん
が紹介します



コンカリーニョとはスペイン語で「愛を込めて」の意味。夏祭りには、約1,500人もの地域の方が訪れます

毎日の生活に根差した劇場づくり

琴似にある二つの劇場、コンカリーニョとパトスを運営しています。わたしたちは、地域の方がサンダル履きで気軽に見に来ることができる劇場をつくりたいと考えているんです。

地域と共に劇場をはぐくむ

約50人の地域ボランティアスタッフが会報の作成や公演の受け付け業務を手伝ってくれるなど、劇場の運営は多くの地域の方に支えられています。

また、地域と一緒に作る演劇にも力を入れており、琴似の歴史に基づく西区住民劇を毎年上演しています。舞台に立つのは芝居初心者の地元の方たち。3回目となる今年は4歳から69歳までの約20人が参加して、演劇の楽しさを肌で感じてもらいました。

このほか出店が並び、みんなでフラダンスを踊る夏祭りも毎年開催しています。

市民の力で劇場を再建

現在の劇場コンカリーニョは、実は皆さんの寄付を基に建てられたものなんです。以前は今の劇場が建っている場所に石造り倉庫があり、そこを利用して、1995年からの7年間、演劇公演を行って

いました。

その石造り倉庫が、地域の再開発で2002年に取り壊されてしまいました。わたしたちは、琴似の人とまちが好きだったので、このまちで引き続き芸術活動を盛り上げていきたいと考え、劇場を再建することを決意したのです。

もちろん、わたしたちには劇場を建設するような多額のお金は無かったため、「劇場を造りたいのでわたしに1万円をください」と寄付のお願いに奔走しました。4年後に集まった資金は1,600万円。不足分は、金融機関から融資を受け、2006年に劇場を再建することができました。

人の輪を広げ、つなげる拠点に

先日、劇場をディスコにしたところ、とても盛り上がりましたが、これはボランティアスタッフによる企画でした。こんなふうに、みんなでつくり上げていく劇場として根付いていけばうれしいですね。

今後は、地域の方が気軽に集まって芸術について語り合えるようなカフェをつくるなど、芸術文化の力で人の輪を広げ、つなげる取り組みをさらに進めていきたいです。



西区住民劇に第1回から参加している
さいとう
斎藤 久美子さん

演劇で
すてきな仲間と
出会い
新しい自分を発見

演劇を見たこともやったこともありませんでしたが、すぐに演じることの楽しさを知り、3年連続で舞台に立っています。コンカリーニョは、いろいろなことに挑戦する機会を与えてくれる場所。今ではボランティアスタッフとしても活動しており、すてきな仲間と囲まれて、新しい人生を歩んでいるような気持ちです。

寄付で
まちづくりに
参加を!

「市民まちづくり活動促進条例」の施行に伴い、市では、皆さんのまちづくり活動を応援する新たな基金「さぽーととほっと基金」を設置しました。忙しくて活動に参加できない方も、「寄付」でまちづくりに参加しませんか。環境・福祉などの活動分野や、登録団体を指定して寄付することができます。

詳細 市民活動促進担当 ☎211-2964 ホームページ www.city.sapporo.jp/shimin/support